

設計内容説明書【共同住宅等一住戸評価用】

住戸タイプ別

※表示内容が変わるタイプがある場合は「タイプ名」を記入して使用してください。

住戸タイプ名	
住戸番号	

住戸共通

	性能表示 事項	確認 項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
			項目	設計内容	記載図書	
維持管理・更新への配慮	4-1 維持管理 対策等級 (専用配管)	専用配管	コンクリート 内埋込み配管	☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管のコンクリート内への埋め込み無し(コンクリートブロックを含む)	☐ 仕上表 ☐ 配置図	審査員 記入欄 ☐
			他住戸内の専 用部内の設置	☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管の他住戸専用部内への設置無し	☐ 平面図 ☐ 基礎伏図	
			地 中 埋 設 管	☐ 給水管、排水管、給湯管及びガス管上のコンクリート打設無し	☐ 構造図 ☐ 設備図	
		排水管の 性 状 等	内 面 の 仕 様	☐ 排水管内面が平滑である	☐	
			設 置 状 態	☐ たわみ、抜け等が生じないよう設置	☐	
	4-4 更新対策 (住戸専用部)	構造躯体	躯体天井高	別紙躯体天井高一覧表、別紙計算書等による	☐ 矩計図 ☐ 計算書	審査員 記入欄 ☐
			住宅専用部の 構造躯体の		☐ 躯体天井高 一覧表	
		壁 又 は 柱			☐	
	☐ 該当なし					

設計内容説明書【共同住宅等－住戸評価用】

☐ 住戸タイプ別

※表示内容が変わるタイプがある場合は「タイプ名」を記入して使用してください。

住戸タイプ名	
住戸番号	

☐ 住戸共通

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
5－1断熱等性能等級 ()地域	認定書等		☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅) ☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅の部分) 認定番号等 ()		評価員記入欄 ☐
	適用する基準		☐ 性能基準 ☐ 仕様基準(等級4のみ)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 建具表	
	性能基準を適用する場合	外皮平均熱貫流率	☐ 外皮平均熱貫流率 U_A の基準に適合		
		冷房期の平均日射熱取得率	☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} の基準に適合		
		躯体の断熱	☐ 熱貫流率基準を適用 ☐ 熱抵抗値基準を適用		
	仕様基準を適用する場合	開口部の断熱及び日射	開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☐ 区分(に) ☐ 緩和措置あり ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
	結露防止対策	繊維系断熱材	☐ 繊維系断熱材等の使用		
		防湿層の設置	☐ 防湿層の設置有り ☐ 除外規定適用(添付図書に内容を記載) ☐ 認定書等(品確法)の活用 認定番号等 ()		
		通気層の設置	☐ 通気層の設置有り(繊維系断熱材を使用する場合は防風層設置) ☐ 除外規定適用(添付図書に内容を記載) ☐ 認定書等(品確法)の活用 認定番号等 ()		
		断熱材の施工	☐ 躯体面に断熱材を全面密着 ※鉄筋コンクリート造等で内断熱工法の場合		
熱橋部対策		☐ 断熱補強有り ☐ 除外規定適用(添付図書に内容を記載) ☐ 認定書等(品確法)の活用 認定番号等 ()			
※鉄筋コンクリート造等で内断熱工法の場合					

設計内容説明書【共同住宅等一住戸評価用】

☐ 住戸タイプ別

※表示内容が変わるタイプがある場合は「タイプ名」を記入して使用してください。

住戸タイプ名	
住戸番号	

☐ 住戸共通

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
5ー2一次エネルギー消費量等級 ()地域	認定書等		☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅) ☐ 認定書等(品確法)の活用(住宅の部分) 認定番号等 ()		評価員記入欄 ☐
			☐ 性能基準	☐ 仕上表	
	基本的事項等	適用する基準	☐ 仕様基準(等級4のみ)	☐ 仕様書	
		居室および非居室の面積	床面積の合計 ☐ Webプログラム出力票による 主居室の面積 ☐ Webプログラム出力票による その他の居室の面積 ☐ Webプログラム出力票による	☐ 面積表	
				☐	
	外皮断熱性能等	適用する基準	☐ 性能基準 ☐ 仕様基準(等級4のみ)	☐ 仕上表 ☐ 仕様書	
			☐ Webプログラム出力票による	☐ 平面図	
	暖冷房	暖房方式	☐ Webプログラム出力票による ☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 仕様書	
		冷房方式	☐ Webプログラム出力票による ☐ ()	☐ 平面図 ☐ 機器表	
	換気	換気設備方式	☐ Webプログラム出力票による ☐ 全般換気設備(比消費電力0.3以下)	☐ 系統図	
		熱交換型換気設備	☐ Webプログラム出力票による ☐ 比消費電力を有効換気量率で除した値が0.3以下	☐	
				☐	
	給湯	給湯熱源機	☐ Webプログラム出力票による ☐ ()		
		配管	☐ Webプログラム出力票による		
		水栓	☐ Webプログラム出力票による		
		浴槽	☐ Webプログラム出力票による		
		太陽給湯	☐ Webプログラム出力票による		
	照明	照明器具	☐ Webプログラム出力票による ☐ 非居室に白熱灯を採用していない		
	発電	太陽光発電の採用	☐ Webプログラム出力票による		
		コーシエネレーションシステム	☐ Webプログラム出力票による		

設計内容説明書【共同住宅等一住戸評価用】

住戸タイプ名										
住戸番号										
性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄					
		項目	設計内容	記載図書						
高齢者等への配慮	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	部 屋 の 配 置 等	特定寝室と同一階にある部屋	☐ 便所	☐ 仕上表	審査員 記入欄 ☐				
			段 差	日常生活空間内	☐ 床は段差のない構造 ☐ 適用除外の段差有り (玄関出入口、玄関上がりかまち、勝手口出入口、タタミコーナー等、浴室の出入口、バルコニー出入口)		☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐ 手摺詳細図 ☐ UB詳細図			
		日常生活空間外		☐ 床は段差のない構造	☐					
		階 段		勾 配 等	☐ 勾配22/21以下、550mm≦蹴上×2+踏面≦650mm、かつ、踏面195mm以上 ☐ ホームエレベーター設置		☐			
		☐ 階段無	蹴 込 み	☐ 蹴込みが30mm以下 ☐ ホームエレベーター設置						
			階段の幅員等	☐ 建築基準法施行令第23条から第27条までの基準に適合						
		手 摺	手摺の設置	☐ 階段、便所、浴室、玄関、脱衣室において、それぞれの基準に適合する手摺が設置されている ※設置準備含む						
			転落防止手摺の設置	☐ バルコニー、窓(2階以上)、廊下及び階段において、転落防止手摺が設置されている(腰壁等の高さ及び手すり子間隔の基準に適合)						
			バルコニー	☐ 建築基準法施行令第126条第1項の基準に適合						
		通路等の幅員 (日常生活空間内)	通路の幅員	☐ 通路最小有効幅員780mm以上(柱等の箇所750mm以上)						
			出入口の幅員	☐ 玄関出入口の有効幅員750mm以上 ☐ 浴室出入口の有効幅員600mm以上 ☐ その他の出入口750mm以上(軽微な改造を含む)						
				浴室の寸法	☐ 短辺内法1,200mm以上 かつ 内法面積1.8㎡以上					
		寝室、便所及び浴室 (日常生活空間内)	便所の寸法等	☐ 長辺内法1,300mm以上(軽微な改造を含む) もしくは、便器の前方又は側方に500mm以上 (ドアの開放又は軽微な改造による長さを含む) ☐ 腰掛け式便器を設置						
			特定寝室面積	☐ 特定寝室の内法面積 9㎡以上						
			高齢者等への配慮	9-2 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)	共用廊下		床 の 段 差	☐ 経路上の段差なし ☐ 経路上の高低差なし (☐ 高低差がある場合の勾配、段について基準に適合)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ ☐	審査員 記入欄 ☐
		該当なし					歩行補助手摺	☐ 手摺設置(高さ700mm～900mm)		
		開放廊下			開放廊下		☐ 開放なし			
					転落防止手摺		☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さによる基準に適合)			
					基準法		☐ 建築基準法施行令第119条及び第126条第1項の基準に適合			
		共用階段			勾 配 等		☐ 踏面240mm以上、かつ、550mm ≦ 蹴上×2+踏面 ≦ 650mm ☐ エレベーター利用可能			
					蹴 込 み		☐ 蹴込30mm以下 ☐ エレベーター利用可能			
		☐ 該当なし			形 式 等		☐ 最上段の食込み及び最下段の突出なし			
					昇降補助手摺		☐ 階段手摺の片側設置(手摺高700mm～900mm)			
		外部開放階段			開放なし		☐ 開放なし			
転落防止手摺	☐ 転落防止手摺設置(腰壁等の高さ及び手すり子間隔の基準に適合)									
基準法	☐ 建築基準法施行令第23条から第27条まで及び第126条第1項の基準に適合									
	幅員(エレベーターを利用できない場合)	☐ 有効幅員が900mm以上								
☐ 該当なし	エレベーター利用	☐ 評価対象住戸から建物出入口のある階までエレベーターを利用し到達できる ☐ 評価対象住戸から建物出入口のある階まで共用階段(1階分の移動に限る)を利用し到達できる								
	エレベーター仕様	☐ 出入口幅800mm以上								
エレベーターホールの広さ	☐ エレベーターホール1,500mm角以上									
	経路上の床段差等	☐ 経路上の段差なし ☐ 経路上の高低差なし (☐ 高低差がある場合の勾配、段について基準に適合)								

設計内容説明書【別紙－更新対策用】

住戸タイプ名	
住戸番号	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
			項目	設計内容	記載図書	
維持管理・更新	4-4 更新対策 (住戸専用部)	構造躯体	躯体天井高	躯体天井高(mm以上)	☐ 矩計図 ☐ 計算書 ☐ 躯体天井高一覧表	審査員 記入欄 ☐
			☐ メゾネットの場合 階			
			住宅専用部の構造躯体の壁又は柱	構造躯体の壁又は柱で間取りの変更の障害となりうるもの ☐ 有り(☐ 壁 ☐ 柱) ☐ 無し	☐	

住戸タイプ名	
住戸番号	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
			項目	設計内容	記載図書	
維持管理・更新	4-4 更新対策 (住戸専用部)	構造躯体	躯体天井高	躯体天井高(mm以上)	☐ 矩計図 ☐ 計算書 ☐ 躯体天井高一覧表	審査員 記入欄 ☐
			☐ メゾネットの場合 階			
			住宅専用部の構造躯体の壁又は柱	構造躯体の壁又は柱で間取りの変更の障害となりうるもの ☐ 有り(☐ 壁 ☐ 柱) ☐ 無し	☐	

住戸タイプ名	
住戸番号	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
			項目	設計内容	記載図書	
維持管理・更新	4-4 更新対策 (住戸専用部)	構造躯体	躯体天井高	躯体天井高(mm以上)	☐ 矩計図 ☐ 計算書 ☐ 躯体天井高一覧表	審査員 記入欄 ☐
			☐ メゾネットの場合 階			
			住宅専用部の構造躯体の壁又は柱	構造躯体の壁又は柱で間取りの変更の障害となりうるもの ☐ 有り(☐ 壁 ☐ 柱) ☐ 無し	☐	

住戸タイプ名	
住戸番号	

	性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
			項目	設計内容	記載図書	
維持管理・更新	4-4 更新対策 (住戸専用部)	構造躯体	躯体天井高	躯体天井高(mm以上)	☐ 矩計図 ☐ 計算書 ☐ 躯体天井高一覧表	審査員 記入欄 ☐
			☐ メゾネットの場合 階			
			住宅専用部の構造躯体の壁又は柱	構造躯体の壁又は柱で間取りの変更の障害となりうるもの ☐ 有り(☐ 壁 ☐ 柱) ☐ 無し	☐	